

オカムラグループのサステナビリティ課題・KPIとSDGs

1 人が集う場の創造

CSR方針 2 クオリティの追求 ESG分類: S(社会)

中期目標(～2022) お客様にとって真に価値のある製品や空間づくりを提案・提供し、さらにイノベーションを誘発することで社会課題の解決に貢献します。

課題(重点課題は★)	KPI	2020年度目標	関連するSDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
★ モノ・コトづくりのクオリティの追求	中期経営計画参照(2020年5月13日開示 中期経営計画の策定に関するお知らせ https://www.okamura.co.jp/company/ir/news.html)		8 9 11 17								8.2 8.5	9.4 9.5		11.3 11.5 11.7						17.17
★ イノベーションの推進と新しい価値の創造	・社会にとって真に価値ある製品や空間づくりを提案・提供 ・自らがイノベーションを起こし、また真に価値ある空間の提供により社会全体のイノベーションを創発 ※2020年度は年度管理せず		9 11 17									9.5		11.7						17.17
★ 安全な製品・サービスの提供	重大製品事故発生件数 ※重大製品事故の定義 当社製品により、生命・身体に重大な被害を及ぼした事故、および製品以外の財産に火災等の重大な被害を及ぼした事故	0件	9 12									9.5			12.4					

2 従業員の働きがいの追求

CSR方針 5 よりよい職場づくり ESG分類: S(社会)

中期目標(～2022) 多様な人材が活躍できる制度や仕組み作りと職場改善に取り組み、自らが意識を変え行動することによって、いきいきと働ける環境を追求します。

課題(重点課題は★)	KPI(オカムラ単体)	2020年度目標(オカムラ単体)	関連するSDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
★ ワークインライフの推進 ～WiL-BE～	WiL-BEおよびWork in Lifeの理解度	「2021年度までに8割超」達成に向けた取り組み推進	3 8			3.d					8.5									
★ ダイバーシティの推進と公正な評価 ～Work Rule～	女性従業員比率 障がい者雇用率 女性管理職及び管理職候補者数 新卒女性採用比率 育児休職からの復職率 育児休職の男性従業員取得者数	21% 2.30% 「2021年度末で2019年度実績の1.5倍」達成に向けた取り組み推進 40% 男女ともに100% 男性従業員の育児休職取得促進策の実行	5 8 10					5.1 5.4 5.5			8.5		10.2 10.3							
★ 自己成長できる職場環境の整備 ～Human Development～	相互理解によりチームと個のパフォーマンスを高める ・新入社員インストラクター面談実施率 ・育成面談(7月・8月)実施率 ・目標管理面接(4月・10月)実施率 主体的に学ぶ意欲を支援する ・e-ラーニング受講率 ・通信教育受講率 2020年度、自分が「なりたい姿」を学ぶ場として企業内大学を開設	各項目100%実施およびアンケートによる効果検証 公開講座型e-ラーニングと通信教育の拡充(補助制度あり) ・自己負担によるe-ラーニング受講者15% ・自己負担による通信教育受講者5%	4 8				4.4				8.5									
健康と安全に配慮した職場づくり	有給休暇平均取得率 一般定期健康診断受診率 ストレスチェック受検率 喫煙率 「積極的支援」「動機づけ支援」の対象者比率(40歳以上の健診受診者)	70% 100% 100% 30% 各12%、6%	3 8			3.4 3.5 3.6 3.d					8.5									
チームワークによる業務の遂行	話し合い実施率	100%実施	8								8.5									

3 地球環境への取り組み

CSR方針 3 地球環境への取り組み ESG分類: E(環境)

中期目標(～2022) 環境活動を実践して「エコの種」を育て、環境活動を通じて生み出された製品サービス、すなわち「エコの実」をお客様に提供します。(詳細→P.62)

課題(重点課題は★)	KPI	2020年度目標	関連するSDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
★ 気候変動への対応	1-1地球温暖化防止対策の推進 ・エネルギー生産性向上 ・物流における温暖化防止	エネルギー生産性向上 前年度比1%向上 ・生産系サイト原単位低減 ・事務所系サイト原単位維持 ・物流CO2排出量削減	7 13 15							7.3						13..1		15.1 15.2		
★ 資源の有効活用	1-2省資源・廃棄物削減による資源循環の推進 ・配送・施工系廃棄物のリサイクル率向上 ・マニフェストの電子化の適用評価 ・ゼロエミッションの継続と対象範囲の拡大	・処理業者リサイクル率評価継続 ・施工系廃棄物電子マニフェスト運用 ・ゼロエミッションの継続と配送センターの範囲拡大	6 7 12 14 15						6.3 6.4	7.3				12.4 12.5		14.1		15.1 15.2		
★ 製品ライフサイクルを通じた環境配慮型製品・サービスの提供	1-4製品開発における環境配慮型企画と設計推進 ・製品開発率の向上(グリーンウェーブ・グリーンウェーブ+開発製品管理) ・製品環境情報管理の改善(SDSを更新と改善) ・アセスメント管理の精度向上(事業領域別チェック項目の見直し)	・グリーンウェーブ・グリーンウェーブ+販売比率・提案率の向上 ・オフィス・店舗の環境提案率の向上	6 12 13 14 15						6.3					12.2 12.3 12.4 12.5 12.7 12.8	13.1	14.1		15.1 15.2		

